

1 部

学習サポート

8 / 8 ~ 9 / 30 の各種申込締切一覧

通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着でお願いいたします。

(注) 備考欄の『レポート課題集』参照ページについては、『試験・スクーリング 情報ブック2014』1部に記載の変更内容も併せてご確認ください。

■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
9月科目修了試験	レポート・申込みハガキ	8月20日(水)
夏期スクーリングⅥ (9/13~10/5)	申込みハガキ	8月21日(木)
秋期スクーリングⅠ (10/11~10/26)	申込みハガキ	9月18日(木)
単位互換協定にもとづく認定単位 スクーリング・資料請求申込締切	p. 46~48参照	8月11日(月)
単位互換協定にもとづく認定単位 スクーリング・出願締切		8月22日(金)
特講・社会福祉学7 履修登録・スクーリング申込み	履修登録用紙	8月31日(日)
特講・社会福祉学15・16 履修登録・スクーリング申込み	履修登録用紙	9月30日(火)

8月在宅web科目修了試験	レポート・ 申込メール	8月8日(金)正午
9月在宅web科目修了試験	レポート・ 申込メール	9月16日(火)正午

	受付日
<p style="text-align: center;">レポート</p> <p>(レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)</p>	8月7日(木) 8月21日(木) 9月2日(火) 9月18日(木) 9月30日(火)

※「スクーリング受講者専用別レポート」締切：(郵送) 受講後1カ月以内
(オンデマンド) 5部参照

■社会福祉援助技術演習・実習関連

	提出物	締切日
<p>★■社会福祉援助技術演習 A 2・3単位めレポート ◆社会福祉援助技術演習 I 2単位めレポート (スクーリング事後レポート)</p>	<p>「演習A・I」受講済み者で、今秋「演習B・II」受講希望者 →9月15日(月)</p>	<p>『レポート課題集2014 (社会福祉編)』 「★■演習A」 p. 133~137 「◆演習I」 p. 187~191</p>
<p>★■社会福祉援助技術演習 B ・◆社会福祉援助技術演習 II スクーリング受講申込み (本冊子巻末の申込ハガキ)</p> <p>※受講判定日(9/15or10/15)までの条件達成も必要。</p>	<p>9~11月受講希望者 →9月15日(月)</p>	<p>『レポート課題集2014 (社会福祉編)』 「★■演習B」 p. 138~141 「◆演習II」 p. 192~195</p>

★■社会福祉援助技術演習C 3単位めレポート	8/31「演習C-2」 受講希望者 →8月15日(金)	(注) 『レポート課題集2014 (社会福祉編)』 「★■指導A」 p. 147～150 「★■指導B」 p. 151～154 「★■演習C」 p. 142～146 「◆指導」 p. 196～198 +『試験・スクーリング 情報ブック2014』 p. 36～37
	7/26・27「演習C」 受講済み者 →8月30日(土) ※実習免除者・科目等履修生での 実習希望者対象	
★■社会福祉援助技術実習指導B-3 + ★■社会福祉援助技術演習C-2 ・ ◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後) スクーリング受講申込み (配付済の申込用紙)	11～2月受講希望者 →9月30日(火)	
★■社会福祉援助技術実習指導B 課題3・5* ◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後) 課題3-① (実習事後課題)	8/30受講希望者 →8月8日(金) 9/20受講希望者 →8月29日(金) 10/18受講希望者 →9月26日(金)	*課題4『課題ノート』はスクーリング当日持参。
★■社会福祉援助技術実習・◆現場実習 受講申込み (「実習希望届」「学習計画書」「★ ■指導Aスクーリング申込用紙」)	平成27年度の 実習受講希望者 →9月1日(月) ～9月15日(月)	「実習希望届」「学習計画書」→『社会福祉援助実習の手引き【第1分冊】2014年度版』巻末 ※申込希望者で所持されていない方は、書面(様式任意)でお知らせください。 「★■指導Aスクーリング申込用紙」→『With』101号巻末

<p>◆社会福祉援助技術現場実習 受講申込み (「実習希望届」「学習計画書」)</p>	<p>H27. 2～7月の 実習受講希望者 →8月31日(日) ※旧カリ (H20年 度以前入学者) 対象</p>	<p>「実習希望届」「学 習計画書」→『社 会福祉援助実習の 手引き【第1分冊】 2013年度版』巻末</p>
---	--	---

■精神保健福祉援助演習・実習関連

	提出物	締切日
<p>■精神保健福祉援助実習指導 A 課題 1-① [実習計画 (案)]</p>	<p>9/6・7 受講希望者 →8月11日(月) 9/20・21 受講希望者 →8月20日(水)</p>	<p>(注) 『レポート課題集2014 (社会福祉編)』</p>
<p>■精神保健福祉援助実習 B 受講申込</p>	<p>9月15日(月)</p>	<p>「■指導 A」 p. 250～253</p>
<p>◆★精神保健福祉援助演習 スクーリング受講申込み + 1 単位めレポート (スクーリング事前課題)</p>	<p>11月受講希望者 →9月15日(月) ※1 単位めレポー トの最終締切 →10月15日(水)</p>	<p>「■実習 A」 p. 258～262 「◆★演習」 p. 266～270 「◆★実習」</p>
<p>◆★精神保健福祉援助実習 課題 3-② (実習事後レポート)</p>	<p>9/6・7 受講希望者 →8月11日(月)</p>	<p>p. 271～278 + 『試験・スクーリング 情報ブック2014』 p. 37～41</p>
<p>◆★精神保健福祉援助実習 受講申込</p>	<p>9月15日(月)</p>	

■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締 切 日	備 考
教育実習・障害者(児)教育実習 誓約書・健康診断書（・個人調査票のコピー）提出	10月実習開始者 →8月15日(金) 11月実習開始者 →9月15日(月)	※事前指導受講済者のみ対象
障害者(児)教育実習の事前・事後指導 実習事前課題	8/2・3受講済み者 →8月15日(金) ※10月実習開始者 は8月7日(木)	(注) 『レポート課題集2014 (心理・教職編)』 p. 254～259 +『試験・スクーリング 情報ブック2014』 p. 42

■その他

●心理学研究法・実験

- ・心理学研究法Ⅱ（8月受講済者）1単位めレポート課題2
8月22日(金)
- ・心理学実験Ⅰ（仙台受講済者）実験レポート 9月1日(月)
- ・心理学実験Ⅱ（仙台受講済者）実験レポート 8月22日(金)
※9月末卒業希望者・10月生科目等履修生 単位認定レポート
8月31日(日)
- ・心理学実験Ⅱ（新潟受講済者）実験レポート 9月9日(火)
※9月末卒業希望者・10月生科目等履修生 実験レポート・単位認定
レポート 9月4日(木)

●10月生

- ・年度内評価レポート提出期限 8月31日(日)

- ・学費納入期限（正科生） 9月30日(火)
- ・休退復学届提出期限（正科生） 9月30日(火)

●9月卒業希望者

- ・再提出レポート提出期限・スクーリング受講期限 8月20日(水)
- ・オンデマンド・スクーリング 試験・別レポート 8月20日(水)正午
- ・8/25までのスクーリング受講済者 別レポート提出期限
9月4日(木)
- ・心理学実験Ⅰ・Ⅱ 単位認定レポート提出期限
(仙台受講済者) 8月31日(日)
(新潟受講済者) 9月4日(木)

「社会福祉援助技術演習A・I」の スクーリング・レポートについて

教員 MESSAGE

准教授 君島 昌志

スクーリングについて

「社会福祉援助技術演習A・I」では7コマの授業を通してソーシャルワークの基本を学びます。入学してから様々な講義科目を受けてきた皆さんにとって、わずか2日間だけのゼミナールですが、初めて演習形式の授業を体験することになります。

授業はこれまでの教員の話をただ聞くのではなく、受講生どうし向き合いながら進める授業となります。小さな教室での少人数の授業であるため、どなたも初めて教室に入ってくる時は非常に緊張されるようですが、授業を通して、また休み時間などの語らいを通して、受講生どうしの親密さが急速に高まっていきます。

授業が終了する頃は連絡先を交換したり、学び合う仲間が増えたりすることで、その後の学習意欲が高まったという話も聞きます。通信教育というのはどうしても孤独を感じながらの学習になりますが、一緒に頑張れる仲間と巡り合えることが学習を継続するための大きな力になると思います。

＊

さて、授業では少人数であることの利点を生かし、ロールプレイやグループ活動を通して利用者理解、援助の基本的知識・技術を学んでいきます。

レポートも含め、これまでも援助技術の理論を学んでいますが、一期一会、せっかく2日間、狭い空間で一緒に学ぶわけですから、ロールプレイやグループ討論を通して様々な「気づき」を積み重ねていく作業を大切に

して欲しいと思います。

誰でも頭で理解していることと、それが自然にできることの間には隔たりがあります。例えば、バイスティックの7つの原則はテキスト等を読んだりレポートにまとめながら頭では「その通り！！」と理解できますが、それを利用者に対して瞬間的に判断し援助できるかという、なかなか難しいものです。

ロールプレイや討論を通して利用者理解を深めていきますが、いつの間にか自己理解につながっていきます。自分のいろいろな面に気づき始めるのです。これこそが演習形式で社会福祉援助技術を学ぶことの大きな意義だと考えています。

＊

受講生のなかには福祉の現場で30年以上実践を積み重ねてきた方もいますし、編入学して福祉の勉強を始めたばかりの方もいます。ややもすると、福祉の現場での経験が長い人が幅をきかせ、現場経験が少ない、あるいは全くない方は萎縮してしまう、と心配されるかもしれませんが、でも、そんなことはありません。むしろ、長いキャリアをもった方ほど、初心にかえり、再認識を促されることも多くなっていきます。

レポートの書き方

『レポート課題集』の該当ページに記載されています。特に「アドバイス」のところはとても重要なヒントが書かれていますのでじっくり読んでレポートの作成に励んでください。

なお、どのレポートでも同じですが、レポート提出用紙に付けられている「評価項目」に目を通してください。教員が採点する上でどのようなことをレポートに求められるのかわかるとと思います。

なかでも「引用・出典明示」「現実との関連づけ」項目について、やや

低く評価される人がいます。引用した、あるいは参考にした文献や資料を複数用いて、文末にしっかり記載してください。

「現実との関連づけ」では、実践経験が全くない方もおられますので、できるだけボランティア活動を行うなど、なんらかの援助の経験を踏まえ、取り組めるとよいと思います。それも難しい場合には、日常生活における対人関係から導き出されたことでもよいと思います。